



ちゅうるい学園小中一貫だより

第1号

令和6年 9月10日発行

ちゅうるい学園

忠類小学校・忠類中学校

～小中合同の取組～

7/11 小中合同体力テスト



ちゅうるい学園の保体部の先生たちが企画しているもので、例年取り組んでいる小中合同でのシャトルランの測定。小学5・6年生が中学校の体育館に行き、一緒に走ります。久しぶりに会う小学生と中学生、共に励ましあいながら、自分の限界まで走りつづめました。みんな、楽しんで活動に参加していました。

7/22 小中合同会議

小中学校の教員が集まり、小中一貫教育推進委員会を開き、各校の現状や課題について交流しました。その後は、推進委員会の保体部によるエピペン研修を行い、子どもたちの、安心・安全を守る方法について学びました。

中学校の先生たちの乗り入れ授業

中学校の先生たちが都合のつく時間に、小学校の授業に参加しています。また、校内研修や参観日などもお互いに行き来して連携を深めています。



～忠類小学校の取組～

子ども交通安全教室

6月11日(火)に、全校児童を対象として、十勝トラック協会の方々による交通安全教室がありました。本物の自転車を使って、トラックの内輪差による巻き込み事故を再現したり、ダミー人形を使って、車に衝突した時の衝撃を速度の違いごとに見せたりしてくれました。子どもたちは、迫力ある光景に息をのみながらも、交通安全に対する気持ちをあらたにすることができました。



シーニックカフェ学習

地域のボランティアの方々で運営されている「シーニックカフェ」。本来は休日のみのところ、7月22日(月)の平日に特別にあけていただき、カフェ体験の学習を行いました。今年度は中学生の発案でプランコが2台設置され、小学生が命名を行いました。今後は、子どもたちがアイデアを出しながら、観光資源としてシーニックカフェの魅力を伝える学習に取り組んでいきます。



～忠類中学校の取組～

「忠類 ゆり根」の学習

中学校では3年間を通して、忠類の特産物「ゆり根」を活用した学習を行っています。

- 1年生…ゆり根の生産者さんからゆり根の栽培方法や魅力について学ぶ。
- 2年生…「かきゆり」の作業を体験し、ゆり根の有効活用(加工)について学ぶ。
- 3年生…「忠類ゆり根」のPRについて考え実行する。

JA 忠類やゆり根農家さんのご協力のもと、この学習が成り立っています。中学生は体験を通して、地域の魅力やふるさとへの思いを高めています。



1年生 ゆり根学習



2年生 かきゆり体験

夏休み前 SNS 防犯教室

7月18日(木)、講師に忠類駐在所の上野巡査部長をお迎えして、「被害に遭わないためのSNS防犯教室」を行いました。多くの中学生がスマホなどの通信機器を手にする時代において、身近なSNSに潜む怖さを改めて学び、使い方のルールを再確認する貴重な機会となりました。



ちゅうるい学園 学校運営協議会

学校が地域住民等と目標やビジョンを共有し、地域と一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校」を目指す仕組みとして設置されたものがコミュニティ・スクール(学校運営協議会)です。

学園(忠類小・中)の学校運営の基本方針を承認したり、意見を述べたりします。7月11日には、第1回幕別町小中一貫教育・CS推進連絡会議で、町内の5つの学園の取組を交流を行いました。



写真は第2回運営協議会の様子

第3期 ちゅうるい学園学校運営協議会委員
(任期：令和5年2月1日～令和7年1月31日)

会長	加藤 茂樹			
委員	五十嵐 克幸	鈴木 亜希子	伊藤 美登里	
	香西 浩志	矢崎 圭子	西川 寿子	
	鳥毛 浄生	森 徹	千葉 勝博	